

## 第1学年国語科学習指導案

日時 平成26年10月2日(木) 公開授業1  
児童 1年生 男9名 女2名 計11名  
授業者 日 當 博 美

### 単元名 そうぞうをひろげてよもう ○中心学習材「くじらぐも」(光村1年下)

#### 1 単元の見目標

◎場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出して読むことができる。〔読アウエ〕

#### 2 単元を貫く言語活動の特徴

本単元で設定した言語活動は、場面の様子を楽しみながら声に出して読む活動である。そのためには、登場人物の会話や行動などの叙述をもとに、動作化をしたり、吹き出しを考えたりしながら想像を膨らませ、声に出して読む学習を進めていく。想像を楽しんでは声に出して読み、声に出してはまた想像を膨らませることを続けていく。その過程で、内容を捉えるだけでなく、抑揚や声量などの読み方の工夫にも発展していくものと思われる。

以上のような声に出して読む活動を繰り返し位置付けることにより、想像を広げて読む力を育てることにつながると思う。

#### 3 単元について

##### (1) 児童の実態

児童はこれまでに、「はなのみち」「おむすびころりん」「おおきなかぶ」の学習で、文章のリズムを考えながら音読したり、場面の様子を想像しながら読み、登場人物になりきって動作化や劇遊びを楽しんだりしてきた。また、友達の発表のよいところを見つけて感想を話す活動を続け、堂々と表現する態度が身についてきたところである。しかし、学習の途中ですぐに集中が途切れてしまったり、書く活動に時間がかかったり、音読に苦手意識がある児童もいることが実態である。

##### (2) 学習材について

本単元「そうぞうをひろげてよもう」は、場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出して読むことをねらいとしている。

本教材「くじらぐも」は、空に忽然と現れたくじらぐもに乗って、子どもたちが空の旅を楽しむ物語である。体育の授業時間という身近な場面から、幻想の世界に引き込まれ、想像の世界で存分に遊ぶというファンタジーの世界を楽しむことができる。また、自分たちと同じ1年生が、大空を舞台にして活躍する内容は、共感する部分が大きく、登場人物と同化し、想像を膨らませながら読むことができると思われる。

この学習材を通して、登場人物の気持ちを考えながら声に出して読み、物語の世界に浸ることができるものと思う。

##### (3) 指導にあたって

第1次では、範読を聞いた感想を交流し合い、作品に対するイメージを膨らませる。また、学習のまとめとして、自分たちが考えた台詞を加えた「くじらぐも」を2年生に向けて発表するという目標をもたせていく。

第2次では、5つの場面に区切って想像を膨らませ、動作化を楽しんだり台詞を考えたりしていく。また、会話文にかぎ(「 」)を使うことをしっかりと再確認し、書くときに意識できるようにさせていく。

第3次では、今まで学習したことをもとに、「くじらぐも」に台詞を書き加えた音読発表会を2年生に向けて行う。2年生から1年生へ、また、1年生同士の感想を交流し合って学習のまとめとする。

#### 4 本単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・想像を広げて物語を楽しもうとしている。	・だれが、何をしたか理解している。〔読ウ〕 ・登場人物の行動について感想を表している。〔読エ〕 ・好きなところを指摘したり音読したりしている。〔読ア〕	・会話はかぎ(「 」)を使って書いていることを理解している。〔伝国イ(オ)〕

#### 5 学習指導計画(全10時間)

	主な学習活動	読みの視点	評価 《》評価方法
第1次 (2時間)	第1時 ・範読を聞き、お話の大体を読み取る。	・設定(いつ、だれが、どこで)	関想像を広げて、「くじらぐも」を楽しもうとしている。 《観察・発表》
	第2時 ・お話を5つの場面に分け、学習計画をたてる。 ・好きな場面とそのわけを話す。	・構造(はじめ、なか、おわり)	読好きなところを発表している。 《観察・発表》
第2次 (5時間)	第3・4時 ・子どもたちが「くじらぐも」と出会い、飛び乗ることになった様子や気持ちを読み取る。	・設定(会話・行動)	読だれが何をしたのか理解し、場面の様子を想像して読んでいる。 《観察・音読》
	第5時 ・子どもたちと、それを応援する「くじらぐも」の様子や気持ちを読み取る。	・設定(会話・行動)	読だれが何をしたのか理解し、場面の様子を想像して読んでいる。 《観察・音読》
	第6時(本時) ・「くじらぐも」に乗った子どもたちの様子や気持ちを読み取る。	・設定(会話・行動)	読だれが何をしたのか理解し、場面の様子を想像して読んでいる。 《観察・音読》
	第7時 ・「くじらぐも」と別れる子どもたちの様子や気持ちを読み取る。	・設定(会話・行動)	読だれが何をしたのか理解し、場面の様子を想像して読んでいる。 《観察・音読》
第3次 (3時間)	第8時 ・友達と声を合わせて読みたい場面を発表し合い、グループを作る。	・作品から受け取ったメッセージ	読好きな場面やおもしろいと思うところなどの自分の感想を発表している。 《発表》
	第9時 ・グループごとに台詞を付け足し、音読練習をする。		読工夫して音読している。 《音読》

	第 1 0 時	・音読発表会をし、感想を交流し合 う。  (・中川李枝子作品の紹介)	読工夫して音読している。 《音読》
--	------------------	---	----------------------

## 6 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ・「くじらぐも」に乗った子どもたちになりきって、読むことができる。〔読ウ〕

### (2) 確かに読み取るための読みの視点

- ・挿絵や行動・様子の叙述に気を付け、想像を膨らませる。【設定】

### (3) 展開

段階	学習活動・学習内容	指導上の留意点 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">□</span> は読みの視点
み と お す  5 分	1 前時までの学習を想起する。  2 本時の学習課題を把握する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">くじらぐもにのった子どもたちになりきって、よもう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の挿絵や最後の文を提示し、想起させる。</li> </ul>
ふ か め る       3 5 分	3 学習場面を音読する。  4 学習課題を解決する。 (1) くじらぐもに乗った子どもたちになって、話したことを考える。  (2) ペアで交流し合う。  (3) 全体で交流し合う。  (4) まとめの音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習場面を意識づけるようにさせる。</li> <li>・雲の上の様子、雲から見えたもの、してみたいことなどを自由に想像させる。</li> <li>・想像したことに理由をつけて発表させる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵や行動・様子の叙述に気を付け、想像させる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【設定】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの気持ちが表れるような音読の工夫を考えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>評価規準</p> <p>だれが何をしたのか理解し、想像を広げて音読している。</p> <p style="text-align: right;">《観察・音読》</p> </div>

<p>まとめ 5分</p>	<p>5 学習のふりかえりをする。 6 次時の学習の確認をする。</p>	<p>・本時の学習でがんばったことをふりかえらせる。</p> <div data-bbox="976 215 1442 450" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ふりかえり例 雲の上の様子を考えるのが楽しかったです。台詞を読む時は、嬉しそうに読みました。 《発表》</p> </div>
-------------------	--	--

(4) 板書計画

ふりかえり

空の上は、気持ちいいな。

ぼくのうかがみえる。

ふわふわだ。

絵

絵

かだい

くじらぐもにのった子どもたちになりきって、  
よもう。

くじらぐも

なかがわ りえこ

本文